

第7回 環境省「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」において環境サステナブル企業部門で金賞（環境大臣賞）を受賞

2026年2月17日

伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長COO：石井 敬太、以下「伊藤忠商事」）は、2026年2月16日、第7回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」※において、環境サステナブル企業部門の最高賞である金賞（環境大臣賞）を、商社として初めて受賞しました。

これまで当社は、同アワードの環境サステナブル企業部門において、銀賞1回、銅賞4回を受賞しており、今回で通算6度目の受賞となります。

本アワードは、ESG金融の普及・拡大を目的に、ESG金融に積極的に取り組む機関投資家や金融機関、仲介業者、サステナブル経営を実践する企業を評価・表彰し、その取組内容を社会全般で広く共有することを目的として、2019年度に環境省により創設されたものです。

このたびの金賞（環境大臣賞）受賞では、当社が総合商社として環境関連のリスクや機会を包括的に把握し、成長戦略と同期した資本効率経営や強固なサステナビリティ・ガバナンスを実現していることが高く評価されました。また、当社の天然ゴム事業における自然資本リスクへの対策も特徴的な取組みとして認められました。

審査員からのコメント

多様な事業領域とサプライチェーンを持つ総合商社として、環境関連のリスクと機会を全方位で把握し、世界基準の資本効率経営を支える高い成長率が求められる中で成長戦略と同期させている点が高く評価された。カンパニー横断のシナジーを追求する経営層のリーダーシップや、長期視点の意思決定を可能とする強固なサステナビリティ・ガバナンスの構築は他社の範となる。非資源部門で先駆的に取り組んできた自然資本対策が天然ゴム事業の事業継続力の確認に寄与している点も特筆され、金賞となった。
(「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」審査事務局より)



伊藤忠商事は、経営方針「The Brand-new Deal～利は川下にあり～」を掲げ、市場・社会・生活者等のあらゆるステークホルダーの声に耳を傾けながら、「SDGsへの貢献・取組強化」を推進していきます。

※ ESG ファイナンス・アワード・ジャパン

環境省が2019年度に設立した、優れたESG関連の取組みを行う企業や金融機関を表彰する制度。5部門（投資家部門・間接金融部門・資金調達者部門・金融サービス部門・環境サステナブル企業部門）が設けられている。

<https://www.env.go.jp/policy/award.kigyobumon.html>

写真：授賞式にて



石原環境大臣による挨拶の様子



当社小林CAOによるスピーチ動画

[2026年サステナビリティニュース一覧へ](#)

[Post](#) [Share](#)

当ウェブサイトの動画はYouTubeを利用しています。
Copyright © ITOCHU Corporation. All Rights Reserved.